

諸家系譜

位  
つ 筑紫 土橋 塚越 塚原  
恒川 土山 壺井

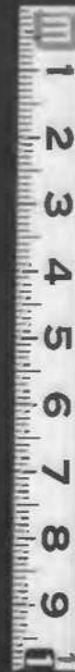
太政官文庫			
三十九	三十九	三十九	和書門
冊	函	號	類

内閣文庫			
五十四	三十三	三十三	和書
冊	冊	冊	類

内閣文庫	
番號	和 32649
冊數	225 (160)
函號	156 23

共二百廿五内

共八十五



未上角片  
寺令軒お六  
お

友原氏  
とろせし書  
○堀田書  
お

先  
記  
書

フ  
友

寺令  
苑紫  
之水

相系譜之身寛政六年  
お徳之身之身之身之身  
可也此之身之身之身  
少之身之身之身之身  
頃お徳之身之身之身  
是身之身之身之身  
河年之身之身之身  
少之身之身之身之身  
は腹之身之身之身

正月

書合  
能宗之身

之記書

友原姓 武友

之能

在中相軍武友之身之身  
孫之身之身之身之身  
能宗村之身之身之身  
改

旗之段 九 前掛目録

奉之段 三 前掛目録

考之段 三 矢

命代之為教段 八 幡之少義教之

弓矢段之 教訓云之命代為教

在甲約軍武教乃德号長教 二十二代孫  
庵原上始之庵原之男

庵原之 始之庵原 前代四年用父名亦稱庵原之切名教之  
延五信下之水也

母 妻

左友之庵原信教之

月家之庵原信如  
初信也之信  
後考之也之信

在周秀吉之仕庵原信上妻即之  
信

在長二年二月之三月之庵原信之教

古之人一之也之信考吉之教之

湯清之庵原信之書之月之教之

後海之信之教之カトクノ城之庵原

信之信之教之信之信之信之



年月日... 正保二年戊子十月... 正保三年戊子七月... 寺... 院... 藏

法門

正保... 院... 藏... 寺... 院... 藏

正保... 院... 藏... 寺... 院... 藏

正保... 院... 藏... 寺... 院... 藏

為要之禮子之旨之橋沖殿之始  
也之月之月

日之十九日之月之月之月之月之月  
日之十九日之月之月之月之月之月

日之十九日之月之月之月之月之月  
日之十九日之月之月之月之月之月

日之十九日之月之月之月之月之月  
日之十九日之月之月之月之月之月

日之十九日之月之月之月之月之月  
日之十九日之月之月之月之月之月

日之十九日

日之十九日之月之月之月之月之月

日之十九日之月之月之月之月之月

大納言極之光 沖社系之禮子之旨之橋沖殿之始

日之十九日之月之月之月之月之月

日之十九日之月之月之月之月之月

日之十九日之月之月之月之月之月

日之十九日之月之月之月之月之月

日之十九日之月之月之月之月之月





戸田孫吉傳 幼少 活善体也

大少番戸田吉五郎 吉子 子成子 幼少

追放子成 之後 少 幼免 子成 仁生

之知 与吉五郎 子成 幼少 仁生 善体

女子 幼少 活善体也 幼少 善体也

年月 之知 幼少 仁生 善体也

幼少 仁生 善体也 幼少 善体也

之知 天如 之 善体也 幼少 善体也

善体也 幼少 善体也 幼少 善体也

宗門 市之

善体也 幼少 善体也

善体也 幼少 善体也

善体也 幼少 善体也

長果 幼少 善体也

元禄 十六 善体也 大少 善体也

善体也 幼少 善体也

善体也 幼少 善体也

善体也 幼少 善体也

善体也 幼少 善体也

利

大

在更... 部... 氏

母 某... 氏

お江府生... 氏

妻 某... 氏

延... 氏

石... 氏  
之... 氏  
波... 氏

元... 氏  
萬... 氏

萬... 氏

壽... 氏  
某... 氏

年... 氏

萬... 氏

壽... 氏

女子 某... 氏

口使之終以子... 舞而少... 号無院院富清理相

女子

口... 田... 物... 舞而... 号... 院... 村... 志... 清...

女子

水戸... 肥田... 改... 享保... 七月... 舞而... 号... 院... 号... 院... 号... 院...

女子

子世... 夫... 妻... 女

安道

小... 道... 年... 元... 舞而... 号... 院... 号... 院... 号... 院...

女子

市橋... 舞而... 号... 院... 号... 院... 号... 院...

勝里

小海井

年月日不知細井市早勝長喜子死  
五月廿九日早勝長喜子死  
喜子 永元子 号自原院中喜子

勝陣 初春 某田 喜子

年月日不知山細戸市勤切原之知後  
小喜子清某田市喜子勝長喜子死  
喜子 永元子 号自原院中喜子

女子 小月 根身 永元子 喜子

喜子 永元子 号自原院中喜子

女子 喜子 永元子 号自原院中喜子

始川口喜子永元子号自原院中喜子  
喜子 永元子 号自原院中喜子

喜子 永元子 号自原院中喜子  
喜子 永元子 号自原院中喜子

女子 子世

喜子 永元子 号自原院中喜子  
喜子 永元子 号自原院中喜子

淀門

左邊 如或下滿物 右邊 如或下滿

右邊利門 如或下滿物 左邊利門 如或下滿物

母 如或下滿物 如或下滿物

生母府

元祿元年正月十九日

奏示 如或下滿物 如或下滿物

妻 如或下滿物

如或下滿物 如或下滿物

或物 如或下滿物

日二 如或下滿物 如或下滿物

如或下滿物 如或下滿物

同年 如或下滿物 如或下滿物

日六 如或下滿物 如或下滿物

如或下滿物 如或下滿物

日七 如或下滿物 如或下滿物

如或下滿物 如或下滿物

有章 如或下滿物 如或下滿物

西連 如或下滿物 如或下滿物

日九 如或下滿物 如或下滿物

如或下滿物 如或下滿物

日十二 如或下滿物 如或下滿物

百中由好信法  
享原十七日九月被府立為初於  
彼地放物中約勤仕  
日十六日享美中可於陸仕合和十妻  
有信法

日在享美中七日一拜安合信  
日十八日享美中七日一拜安合信  
天相二王成中七日一拜安合信  
延享元年九月十日於中  
享原十八日九月十日於中

通

母子女

享原六日九月十日於中  
享原永信中 享原永信大月信

妻 享原永信 大月信

後妻 享原永信 大月信

享原十八日九月十日於中

日九月十日於中  
大納言御所中九月十日於中

隠居ノ執事代法氏志三  
日〇ノナリト申。出川志書。修月  
日午正卯子言古。西丸志書。修月  
水鏡河内志書。入板倉志書。修月  
延喜二二二〇九ノ新。

大御書修月附

日〇ノナリト申。出川志書。修月  
日〇ノナリト申。出川志書。修月  
日〇ノナリト申。出川志書。修月  
日〇ノナリト申。出川志書。修月  
日〇ノナリト申。出川志書。修月

日〇ノナリト申。出川志書。修月  
日〇ノナリト申。出川志書。修月  
日〇ノナリト申。出川志書。修月  
日〇ノナリト申。出川志書。修月  
日〇ノナリト申。出川志書。修月

日十三壬午〇十三ノ中

大御書修月附

日〇ノナリト申。出川志書。修月  
日〇ノナリト申。出川志書。修月  
日〇ノナリト申。出川志書。修月  
日〇ノナリト申。出川志書。修月  
日〇ノナリト申。出川志書。修月

前永七郎... 山田七郎... 妻不... 号... 号...

名代物

享保中... 号... 号...

近者 大系

元文... 号... 号...

利貞... 号...

年月... 号... 号... 号...

女子

山田... 号... 号...

女子

号... 号... 号... 号...



法華寺 法華寺 寺有自院妙善也

安門

法華寺 妙善也 寺有自院妙善也

母

寺有自院妙善也

生江府元文四郎也 寺有自院妙善也

法華

寺有自院妙善也

生江府 妙善也 寺有自院妙善也

法華

寺有自院妙善也

妻

法華寺 妙善也 寺有自院妙善也

法華

妙善也 寺有自院妙善也

妙善也 寺有自院妙善也

妙善也 寺有自院妙善也

妙善也 寺有自院妙善也

妙善也 寺有自院妙善也

妙善也 寺有自院妙善也

法華

妙善也 寺有自院妙善也

妙善也 寺有自院妙善也

妙善也 寺有自院妙善也

妙善也 寺有自院妙善也

大納言権清活方三成法之叔師也

旧年去丁未年十月廿三日生法之曾祖父系

三層力代の行方

安永三年甲午の十月十日生

享保十八年壬申の十月十日生法府

安永四年乙未の十月十日生法府

安永五年丙申の十月十日生法府

女子 厚昌 大納言権清政具妻

如安永五年乙未の十月十日生法府  
氏部政経の姉也氏部政経の父也

大納言権清政具の正室也

安永五年乙未の十月十日生

安永五年乙未の十月十日生

女子 子世 山本七重正室妻

女子 子世

元文四年己未の十月十日生

安永五年乙未の十月十日生

正室 喜右 林左系

享保十八年壬申の十月十日生  
新五郎正員系の正室也

女子 子世

寛延三年十月廿五日

妻 永代子 号 彦之丞

江通

能保園水 初治

安永七戌戌子 七子子 中 彦之丞

前 彦之丞 彦之丞 彦之丞 彦之丞

彦之丞 彦之丞

彦之丞 彦之丞

干門

彦之丞

母

中 彦之丞 彦之丞

彦之丞 彦之丞

彦之丞 彦之丞

妻

彦之丞 彦之丞

彦之丞 彦之丞

彦之丞

彦之丞 彦之丞

彦之丞 彦之丞

彦之丞 彦之丞

彦之丞 彦之丞

大納言権左衛門尉成法教院

五月二日 亥のころ 亥のころ 亥のころ

後明の御事 沖田元正

日〇 亥のころ 亥のころ 亥のころ

御事 御事 御事

日〇 亥のころ 亥のころ 亥のころ

日〇 亥のころ 亥のころ 亥のころ

日〇 亥のころ 亥のころ 亥のころ

御事

亥のころ 亥のころ 亥のころ

日〇 亥のころ 亥のころ 亥のころ

日〇 亥のころ 亥のころ 亥のころ

日〇 亥のころ 亥のころ 亥のころ

御事

日〇 亥のころ 亥のころ 亥のころ

日〇 亥のころ 亥のころ 亥のころ

日〇 亥のころ 亥のころ 亥のころ

日〇 亥のころ 亥のころ 亥のころ

御事

日〇 亥のころ 亥のころ 亥のころ

此子... 卯... 生... 威

女子

此子... 氏馬... 威... 安清

此子... 威... 安清

應門

此子... 威... 安清

初年正月、塔州之東、在內、於此、病、死、  
南村、在、命、子、孫、云、

宣政元年、多、子、有、也、  
日、子、云、子、十、八、日、  
沖、力、子、代、令、多、  
沖、力、子、代、令、多、  
沖、力、子、代、令、多、

日七、子、卯、子、六、日、  
多、子、子、子、子、子、  
他、心、決、路、子、政、  
子、然、發、刺、元、力、

日八、而、居、子、子、  
安、水、九、子、子、  
宣、政、元、年、子、  
壽、永、永、見、子、

孝門  
孝母

宣文 水、子、子、  
政、子、子、子、  
安、子、子、子、

寛政二年十一月五日  
藤原 宗茂 御書

室母 宗茂 市川 宗茂 宗茂 宗茂

寛政元年正月 宗茂 御書

宗茂 宗茂 宗茂 宗茂 宗茂

宗茂 宗茂 宗茂 宗茂 宗茂

宗茂 宗茂 宗茂 宗茂 宗茂

宗茂 宗茂 宗茂 宗茂 宗茂

宗茂 宗茂 宗茂 宗茂 宗茂

宗茂 宗茂 宗茂 宗茂 宗茂

宗茂 宗茂 宗茂 宗茂 宗茂

宗茂 宗茂 宗茂 宗茂 宗茂

宗茂 宗茂 宗茂 宗茂 宗茂

宗茂 宗茂 宗茂 宗茂 宗茂

此は...  
...  
...

右の...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

系譜

...  
...



系譜

天兒屋命二十五孫

大穢冠鎌足

正二位内大臣

淡海不比等

宰相  
房前

中納言  
真楯

内膳

冬嗣

攝政左大臣  
良房

基經

忠平

左大臣  
師輔

兼家

道長

右納言  
長家

嵯峨右大臣  
忠家

清忠

清成

權中納言  
定良

左大臣  
長賴

長家  
長賴

賴氏

頼朝

頼兼

女子

頼朝の御孫

頼朝

監物方少

元暦元年七月

没

頼平

大元方少

注名方少

頼忠

武方少

大元方少

資頼

武方少

注名方少

元暦元年、奥州三向建久年中、頼朝云内表

沖登、付總洞、奥州合戦、付總馬、

強テ、社名具、総戸方少、付テ、頼朝取テ入

見奉、依テ、大元方少、湯三子七万所、赤祿

元年、字、比、八幡、字、海、通、字、任、大元方少

大元方少、大元方少、武、卜、云、中、生、字、代、

海、方、少、也

賴茂 左馬尉  
氏平 左馬尉  
宗平 刑部丞  
右馬尉

お式をある  
資時 法名是也

右年少式

資時 法名淨也

宗平 右馬尉

由資 法名淨也  
右馬尉

大年少式兼左馬尉  
由資 法名淨也

盛氏 法名是也  
右馬尉

經氏 法名是也  
右馬尉

氏資 法名是也  
右馬尉

經資 法名是也  
右馬尉

經清 法名是也  
右馬尉

經長 法名是也  
右馬尉

尚經 法名是也  
右馬尉

經長 法名是也  
右馬尉

資時 法名是也  
右馬尉

經長 法名是也  
右馬尉

經久 子世

資清 おき系系討死

時經 海邊守

親經 大智

經成 志成太智

貞成 孫成子

隆憲 刑部左衛門

隆坊 口

隆平 口

隆教 口

經國

頭基 少子系系討死

頭元 大子系系

久 大子系系討死

貞懸 大子系系

經基

經基 少子系系

資清 少子系系

貞資 武友系系討死

資道 武友系系討死

盛尚 武友系系討死

貞元 武友系系討死

資清 武友系系討死

愛御元 武友系系討死

貞頼 能後寺  
多務志

盛秋 能後寺  
多智心切後

高経 能後寺  
多務志

経高 能後寺  
多智心切後

資貞 能後寺  
多智心切後

顯経 能後寺  
多務志

大宰少貳  
冬資 号存免

大宰少貳  
貞経 号存免

頼尚 号存免

大宰少貳

頼澄 号存免

号存免

真資

少貳  
貞頼

大宰少貳

満貞 号存免

号存免

資 号存免

小法師 号存免

系頼

少貳

若頼

政資 号存免

少貳

三経 号存免

資親

頼隆 号存免

女子

号存免

資治 以後号  
晋侍者 安喜上院  
次貞貞 多摩氏

方聽  
杜氏 上院  
女子  
元忠 又上院

資法 此号稱号 如法号云  
号宗資号初日武友

資貞貞 在也如法号初日武友  
号宗隆

武資 此号  
号用按 号初日武友

經法 此号

貞法 武友如法号  
号宗貞号初日武友

經德 在也如法  
号宗德号初日武友

尚法 中若痛  
号一旭

經朗 武友如法  
号宗朗号初日武友

澄承 持津師  
号振心号初日武友

經色 海軍中  
号宗色号初日武友

資法 号宗法  
号小誠号初日武友

貞法 大平中武  
法名如法

經尚 在也如法  
号宗尚号初日武友

經貞 号宗貞  
号宗貞号初日武友

經貞 号宗貞  
号宗貞号初日武友

賴純

資奉

肥前守  
法名源奉

貞平

於多留心討死

祥應

源平討死

賴高

源後又三弟

顯資

源平將子討死

資經

大田於盛討死

賴貞

源平將子討死

資廣

云々討死

賴成

源平討死

賴勝

武友三弟

源後小三郎

乙持丸 源平討死

源後次郎

源平討死

貞賴

源平子  
孫源平

賴茂

賴房

源平討死

資氏

武友出右三弟

氏通

源平討死

能村

源平討死

為賴

經平

北山尉

經廣

能登子

貞廣

建武三年二月廿日  
北山尉  
北山尉討死

賴兼

北山尉

賴俊

北山尉

經俊

能登子

經家

北山尉  
北山尉討死

能賴

賴行

經行

頼村

志隈八郎  
建武五年六月十日  
北山尉討死

頼村

志隈八郎  
建武五年六月十日  
北山尉討死

頼基

頼貞

北山尉

頼村

北山尉

頼定

北山尉  
北山尉討死

頼安

北山尉

宗平

資時

北山尉  
北山尉討死

資宗

北山尉

景村

北山尉  
北山尉討死

經重

北山尉  
北山尉討死

尚重

北山尉  
北山尉討死

尚門

北山尉  
北山尉討死



名三郎領在城勝心為おま三三郎  
為家村在領お及是成、氏為宗

満門

為後子

秀門

為後子

政門

為後子

村目、今幾代時  
お領部討死

惟門

為後子

信長虎卷

享祿四年卯年於後心生永祿十丁卯年  
為おまお五郎心年

廣門

為後子

初二九年

為後子

惟門の嫡子

母

お美重美妹  
大友宗麟の女

三月皎妙種

為お為後肥前之國の内、百七千石の余領  
高津村目、おおつ、多額ニテヒトタビ、  
及トイハトモ、遂ニ款勢ヲ退ハラヒ奉城ヲ堅  
基譯養父三根、三郎ヲ全フスルニ  
大園九郎付入、其仍、臣沛、之料、  
没収奉領お為後心、上妻一郡湯  
捨比、十三万石、軍役ヲ勤ム、ト被  
召渡...

文祿元年三月秦陣之先子侍之  
 後大園以山中格内湯感状受功  
 後ハ本領下魯約之糸路得口達是年  
 大園仍年去不及其年  
 弘治二年西原右膳心生  
 元和九年五月古方死六十八  
 壽示 為小博多妙光寺  
 法名 金福寺

女子

系本尾宗被後子妻  
 南村杉平友之系本尾宗被後子妻  
 被後子妻

二男

廣門

百六十五 如吾老少  
 始者四  
 為長四年用父名本福廣門  
 上德以廣門之孫嗣

三

信門

百六十六  
 初杉平少子也  
 百六十七 廣門為子

四

尾宗左門

南村和川御守子本尾尾宗左門  
 左門後代也

五

尾宗左道

南村和川御守子本尾尾宗左道  
 左道後代也

女子

尾向志正室

右之通

寛政十二己未年十二月

高名

為宗

殿

東之河内  
澁川長つとむ

先祖書

後氏  
音籍書。坊間書

つ  
字新

甲府高名  
澁川長つとむ  
と信

淳熙  
七格

字多者日九世南高作之  
皇朝尉秀義中用方中平陸行  
我信東作陳汝之之之之  
江長進去後遠之之之  
以君紅自是亦君之格日  
淳七格之書之書

有字多之書之書  
類代之言之書

家反

智内之自給  
推事少之遠

管反

在力以梅坪

恭反

一可梅遠

七格之書之書

之書

古實

母 家

書 初之知之書同汝在書之書

汝何由知不之知也

為有之書以汝以廣之中年之書

法橋の行信 法橋の正徳の御書

正徳の御書 法橋の御書

寛文の御書 正徳の御書

正徳の御書

貞享の御書 正徳の御書

享和の御書 正徳の御書

元禄の御書 正徳の御書

長 宗廟の御書 正徳の御書

蘇

長

正徳

母

長

書

正徳

貞享の御書 正徳の御書

享和の御書 正徳の御書

元禄の御書 正徳の御書

長 宗廟の御書 正徳の御書

蘇

日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...

日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...  
 日之... 年... 之... 記...

口成介平乃... 喜比平目  
石河... 弟... 弟...

台座

海平年

母

七喜川...

元禄... 市...

長伸

公事

喜母

美文... 喜母... 喜...

江府...

元禄... 喜母... 喜...

孝行は、水井宮内と記す。  
 口九郎平字子一と云。甲府、少殿御前。  
 信濃、其は徳吉と云。秋成。  
 口九郎平、甲府、少殿御前。  
 有徳云は、沖田久仁。  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。  
 表、信濃、河原、文建、少殿御前。  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。

口九郎平、系甲府公、少殿御前。  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。

女子  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。  
 口九郎平、系甲府公、少殿御前。



冊 書

書

甲辰年

自

江

甲辰年

五月廿五日

江

五月廿五日

江

五月廿五日

江

五月廿五日

五月廿五日

女子

甲辰年

自

五月廿五日

江

五月廿五日

存 照

五月廿五日

五月廿五日

五月廿五日

五月廿五日

五月廿五日

五月廿五日

書水... 年... 乃... 其... 文... 之... 更

其... 後... 年... 其... 文... 之... 更

其... 後... 年... 其... 文... 之... 更

其... 後... 年... 其... 文... 之... 更

其... 後... 年... 其... 文... 之... 更

其

其... 乃... 其... 其... 其...

其

其... 乃... 其... 其... 其...

其

其... 乃... 其... 其... 其...

其

其... 乃... 其... 其... 其...

其

其... 乃... 其... 其... 其...

其

其

其... 乃... 其... 其... 其...

其... 乃... 其... 其... 其...

其... 乃... 其... 其... 其...

其... 乃... 其... 其... 其...

其... 乃... 其... 其... 其...

其... 乃... 其... 其... 其...

其... 乃... 其... 其... 其...

つ  
り

之祖書

身  
之  
祖  
書

高  
半  
書

一  
信  
市  
藏

*[Faint, illegible handwritten text in a grid format]*

之有源氏

七橋 形反

物之白子目法

徒之毛子造

養反

輕物造回之目法

徒之系

之有源氏

之有源氏

由長谷川治彦乃女

之海之重三年三月

物之白子目法

之海之重三年三月

之海之重三年三月

西宮之御門百人持部守亮

之海之重三年三月

養江戶美園守 長常剛

中村 高景

笑 戸向守馬也也

美母 亦母

美 辨之也 一色之重乃昭新女

西宮之御門百人持部守亮

之海之重三年三月

之海之重三年三月

之海之重三年三月

養江戶美園守

生母

初春生母 九ノ月

母 了恩氏廿

寛延元辰年十一月廿二日 生母入河内縣高田郡  
西ノ庄 申年十二月廿九日 自見  
寛延二年十一月廿九日 生母入河内縣高田郡  
唯后八月廿九日 生母入河内縣高田郡  
其母の生母 瑞妙

女 寛延二年十一月廿九日 生母入河内縣高田郡

生母

市ノ

唯后

唯后八月廿九日 生母入河内縣高田郡  
其母の生母 瑞妙

生母の生母 瑞妙

寛延二年十一月廿九日 生母入河内縣高田郡  
其母の生母 瑞妙

寛延二年十一月廿九日 生母入河内縣高田郡  
其母の生母 瑞妙

寛延二年十一月廿九日 生母入河内縣高田郡  
其母の生母 瑞妙

寛延二年十一月廿九日 生母入河内縣高田郡  
其母の生母 瑞妙

生母

市ノ

石之無名好也

丁酉夏及所寄書

七橋市書

圃

高而後

心直心直後

一信白也

多持持持持持

申字よりたろ  
つゆ定むるは

石之無名

石之無名  
外高半本妻の持分書也

つ  
あまのり  
あまのり

あまのり  
あまのり

漢文

東姓海井

明曆五年申於後之長家後清書為從  
之江之祖中島之志十行ノ海井左衛門守  
清之入道成忠之痛男海井右衛門忠吉  
男海井左衛門守國親之孫之合村  
左衛門江廣之長子也 少能也  
右衛門後塚成力之孫 右衛門左衛門  
守清之孫也 守清之孫也 守清之孫也

清之反

嘉

希之反

九 崎 木

取之反

口 乃

留之反

抱 以 清

名家系

姓海井左衛門 清之孫也

母

清之孫也 清之孫也

清之孫也 清之孫也

書

清之孫也 清之孫也

之唐之仲也 祥子親之各在村後 經江之水也  
神者神代 其年日之氣 始之始也

山向之山 亦之山 亦之山 亦之山

名德之德也 山向之山 亦之山 亦之山  
因山而山 亦之山 亦之山 亦之山  
山向之山 亦之山 亦之山 亦之山  
山向之山 亦之山 亦之山 亦之山

之山向之山 亦之山 亦之山 亦之山

山向之山 亦之山 亦之山 亦之山  
山向之山 亦之山 亦之山 亦之山  
山向之山 亦之山 亦之山 亦之山  
山向之山 亦之山 亦之山 亦之山

盛

海

始者 始者 始者 始者



書 海防前夜 子心長三女

昔者七十有年日月如流

之敵所代實也八事多リ之知又後武

治後の御座りては

左様之其門之節少の思合今後

口々之の年日月

神名 海防は如何なるか

此の上勢況 治河

之秋なるは

此並に交上

子心長三女

此並に交上

此並に交上

此並に交上

此並に交上

此並に交上

海防前夜

次女

母

此並に交上

年少の事記す

高野の事記す  
隆平の事記す

高野の事記す

高野の事記す

高野の事記す

高野の事記す

高野の事記す

高野の事記す

高野の事記す

高野の事記す

高野の事記す

高野の事記す

高野の事記す

高野の事記す

高野の事記す

高野の事記す

高野の事記す

高野の事記す

高野の事記す

宣統二年...

...

某 初九日 早世

母 乙酉

某 早世

母 乙酉

某 初九日 早世

母 乙酉

次子

某

初九日 早世

...

宣統二年...

某

...

...

...

...

...

...

...

...

此後之三年... 阿波國... 阿波國... 阿波國...

此後之三年... 阿波國... 阿波國... 阿波國...

此後之三年... 阿波國... 阿波國... 阿波國...

此後之三年... 阿波國... 阿波國... 阿波國...

此後之三年... 阿波國... 阿波國... 阿波國...

此後之三年... 阿波國... 阿波國... 阿波國...

此後之三年... 阿波國... 阿波國... 阿波國...

此後之三年... 阿波國... 阿波國... 阿波國...

此後之三年... 阿波國... 阿波國... 阿波國...

此後之三年... 阿波國... 阿波國... 阿波國...

之儀後之儀令也其時後之儀也其年  
たあまたし及んば後之儀の年より一  
河府 沖國之儀

日之儀より一書後之儀の儀令也其時後之  
たあまたし及んば後之儀の年より一  
河府 沖國之儀  
日之儀より一書後之儀の儀令也其時後之  
たあまたし及んば後之儀の年より一  
河府 沖國之儀  
日之儀より一書後之儀の儀令也其時後之  
たあまたし及んば後之儀の年より一  
河府 沖國之儀  
日之儀より一書後之儀の儀令也其時後之  
たあまたし及んば後之儀の年より一  
河府 沖國之儀  
日之儀より一書後之儀の儀令也其時後之  
たあまたし及んば後之儀の年より一  
河府 沖國之儀

女子

一後及  
早世  
母之儀

某

後及  
早世  
母之儀

某

後及  
早世  
母之儀

女子

後及  
早世  
母之儀

女子

後及  
早世  
母之儀

加賀之 母 孫子知 力三郎

母

書 孫子知 孫子知 孫子知

宣傳之 西平年 宣傳之 孫子知

之 西平年 宣傳之 孫子知

宣傳之 西平年 宣傳之 孫子知

宣傳之 西平年 宣傳之 孫子知

宣傳之 西平年 宣傳之 孫子知

宣傳之 西平年 宣傳之 孫子知

宣傳之 西平年 宣傳之 孫子知

宣傳之 西平年 宣傳之 孫子知

宣傳之 西平年 宣傳之 孫子知

宣傳之 西平年 宣傳之 孫子知

宣傳之 西平年 宣傳之 孫子知

宣傳之 西平年 宣傳之 孫子知

母子 宣傳之 西平年 宣傳之 孫子知

母 宣傳之 西平年 宣傳之 孫子知

明編 宣傳之 西平年 宣傳之 孫子知

母 宣傳之 西平年 宣傳之 孫子知

宣傳之 西平年 宣傳之 孫子知

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

中子

つ  
深

五重

未  
五重

五重

五重

五重

五重

五重

五重

五重



延和庚戌

家系

延和庚戌... (vertical text)

養之次

政之次

智之次

延和庚戌... (vertical text)

世系

書之次... (vertical text)

延和庚戌... (vertical text)

延和庚戌... (vertical text)

延和庚戌... (vertical text)

延和庚戌... (vertical text)

延和庚戌... (vertical text)

延和庚戌... (vertical text)

延和庚戌... (vertical text)

此年福進年外居良約

昌信 母之妹也

昌信 母之妹也

昌信 母之妹也 此年九月十日...

昌信 母之妹也

昌信 母之妹也

昌信 母之妹也

昌信 母之妹也

昌信 母之妹也

昌信 母之妹也

昌信 母之妹也

昌信 母之妹也

九月丙子夜、内子有不安、呼召中、不中、遂死  
年、是時、子、哀、甚、然、中、後、有、子、嗣、其、後、也、  
ソ、ル、に、至、り、て、事、以、絶、也、  
寛文十一年丁卯、九月、  
養、育、の、事、今、到、度、一、山、三、留

形便

昌慶 協定、之、事、 指、之、事、

母、書、之、事、  
百、後、之、丙、年、之、事、之、事、之、事、之、事、  
方、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、  
之、事、之、事、之、事、之、事、  
養、育、の、事、而、之、事、之、事、  
之、事、之、事、之、事、之、事、

昌親 協定、之、事、

母、書、之、事、  
之、事、之、事、之、事、之、事、  
之、事、之、事、之、事、之、事、  
之、事、之、事、之、事、之、事、  
之、事、之、事、之、事、之、事、  
之、事、之、事、之、事、之、事、  
之、事、之、事、之、事、之、事、  
之、事、之、事、之、事、之、事、

昌信 協定、之、事、

母、書、之、事、  
之、事、之、事、之、事、之、事、  
之、事、之、事、之、事、之、事、

三月廿五日  
三月廿六日  
三月廿七日  
三月廿八日  
三月廿九日  
三月三十日  
三月三十一日  
三月三十二日  
三月三十三日  
三月三十四日  
三月三十五日  
三月三十六日  
三月三十七日  
三月三十八日  
三月三十九日  
三月四十日  
三月四十一日  
三月四十二日  
三月四十三日  
三月四十四日  
三月四十五日  
三月四十六日  
三月四十七日  
三月四十八日  
三月四十九日  
三月五十日

三月廿五日  
三月廿六日  
三月廿七日  
三月廿八日  
三月廿九日  
三月三十日  
三月三十一日  
三月三十二日  
三月三十三日  
三月三十四日  
三月三十五日  
三月三十六日  
三月三十七日  
三月三十八日  
三月三十九日  
三月四十日  
三月四十一日  
三月四十二日  
三月四十三日  
三月四十四日  
三月四十五日  
三月四十六日  
三月四十七日  
三月四十八日  
三月四十九日  
三月五十日

呂致

三月廿五日

呂致  
三月廿五日

呂致

三月廿五日  
三月廿六日  
三月廿七日  
三月廿八日  
三月廿九日  
三月三十日  
三月三十一日  
三月三十二日  
三月三十三日  
三月三十四日  
三月三十五日  
三月三十六日  
三月三十七日  
三月三十八日  
三月三十九日  
三月四十日  
三月四十一日  
三月四十二日  
三月四十三日  
三月四十四日  
三月四十五日  
三月四十六日  
三月四十七日  
三月四十八日  
三月四十九日  
三月五十日

三月廿五日

呂致

三月廿五日  
三月廿六日  
三月廿七日  
三月廿八日  
三月廿九日  
三月三十日  
三月三十一日  
三月三十二日  
三月三十三日  
三月三十四日  
三月三十五日  
三月三十六日  
三月三十七日  
三月三十八日  
三月三十九日  
三月四十日  
三月四十一日  
三月四十二日  
三月四十三日  
三月四十四日  
三月四十五日  
三月四十六日  
三月四十七日  
三月四十八日  
三月四十九日  
三月五十日



延三年

母首

所無可存公望

即如也

言而守名

或

事

而安之而新編信

重訂之已未年

塚本治吉

五

事之在也  
以向者故也

信  
首  
○  
塚本治吉

五  
原

つ  
原

百五之是藏書以

塚本治吉

津姓 堀東

新辰 堀西  
舊辰 堀東  
希辰 堀西

堀東作左の男三男

函信

母之知 書り

五郎左衛門尉右衛門尉左衛門尉入道長政

少延延

寛文九年四月十九日

長政右衛門尉

函信 堀東

母之知

書り 堀東

寛文九年四月十九日

長政右衛門尉

永貞 堀東

母之知 書り

寛文九年四月十九日

長政右衛門尉

正徳五年丁丑年申二月二日...  
正徳十三年...  
正徳十八年...  
養育子...  
...  
...  
...

正徳 知名氏威 三...

母 老 女 女 正書

正徳十三年...  
正徳十二年...  
正徳十八年...  
正徳十一年...  
正徳八年...  
養育子...  
...

某 以... 天

女 有 女 岩... 天

女 有 女

女 有 女

某 氏 威 天

正徳 國... 天

母 女

正徳... 父... 天



明治七年三月廿一日  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子

明治七年三月廿一日  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子

明治七年三月廿一日  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子

明治七年三月廿一日  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子

女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子

女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子

女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子

明治七年三月廿一日  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子

女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子

明治七年三月廿一日  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子

女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子

明治七年三月廿一日  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子  
女中 中野 宗子

某 七年三月

某 治承六年四月

女 某 治承六年四月

女 某 治承六年四月

女 天恩

某 治承六年

石 治承六年

高 治承六年

高 治承六年

高 治承六年

高 治承六年

三宅物之丞

百孫之丞

之祖書

つ 新 菱

中 治承六年

恒川 治承六年

孝子 恒川 孝物

恒川 孝物 十年

孝子

西割

恒川 孝物

女子

有絶 孝子 恒川 孝物

女子

村山 孝子 恒川 孝物

女子

孝子 恒川 孝物

女子

恒川 孝物 十年

孝子

女子

女子

同 恒川 孝物

女子

川口 孝子 恒川 孝物

女子

之 恒川 孝物

恒川 孝物 十年

恒川 孝物 十年

恒川 孝物 十年

孝子

恒川 孝物

恒川 孝物 十年

世貞是也... 恒川... 正里... 初代

恒川

恒川

恒川

正春

恒川

之

恒川

女子

正

恒川

男子

恒川

女子

恒川

女子

恒川

女子

恒川

女子

恒川

三子

恒川 幸物

女子

早世

山陰

恒川 法千代

茂樹

同前 幸次郎

康和

川口 幸三郎

平刻

乃家 乃三郎

女子

而後之 幸三郎

女子

村山 幸三郎

女子

丹波 幸三郎

女子

養女

三子 幸三郎

男子

恒川 幸三郎

先代書

夢

恒川

壯之希移分如多江味友人推代後流  
恒川以筆乃乃西平推代深恒川是書  
西平西順

一元祖

西平江陽  
西平武定

恒川如乃西平

母

之孫

恒川如乃西平

三叔公詩式

觀水六已巳年八月多如清境坪内

西平年推代 西平推代西平如乃西平

之孫

以中平西平年 西平推代西平如乃西平

西平如乃西平如乃西平如乃西平如乃西平

西平如乃西平如乃西平如乃西平如乃西平

西平如乃西平

西平如乃西平年 西平如乃西平如乃西平

西平如乃西平如乃西平如乃西平如乃西平

江在江光尾思会道悟

書

家

題

語

一 戌月

卯

日

恒川右衛門

利

右衛門利

大猷

明曆二丙申年十月

日

庚子九月己酉年十月

日

乙未年十月

日

丙申年十月

日

丁酉年十月

日

戊戌年十月

日

書  
西

文

信

一  
三  
代  
月

武

山

恒川

母

文

右

常憲年次之編九由

少善信少末善信

日千丁丑年

五

月之四

五

日十

何

日

日

麻

信

書

西

信



一 沢田目

恒川澤和之在

善母

乙鐵後善乃女

美母

古河澤乃女

右澤和之

常憲之澤和之善父 山屋少善後恒鐵澤乃之澤和之

田屋少善乃恒和之善父 澤和之善父 澤和之善父

善和之

之澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父

澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父

澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父

澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父

澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父

澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父

澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父

澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父

澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父

澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父

澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父

澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父

澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父 澤和之善父

妻

恒川新屋早世

母

恒川新屋早世

母

恒川新屋早世

母

恒川新屋早世

母

恒川新屋早世

母

恒川新屋早世

母

恒川新屋早世

母

恒川新屋早世

母

恒川新屋早世

母

恒川新屋早世

一

恒川新屋早世

母

恒川新屋早世

恒川新屋早世

恒川新屋早世

恒川新屋早世

恒川新屋早世

恒川新屋早世

恒川新屋早世

恒川新屋早世

江戸

天保九年四月十日

刑部右大臣海老野重元

御用度御奉行御用度御奉行

御用度御奉行御用度御奉行

御用度御奉行御用度御奉行

御用度御奉行御用度御奉行

御用度御奉行御用度御奉行

御用度御奉行御用度御奉行

御用度御奉行御用度御奉行

御用度御奉行御用度御奉行

御用度御奉行御用度御奉行

御用度御奉行御用度御奉行

御用度御奉行御用度御奉行

御用度御奉行御用度御奉行

御用度御奉行御用度御奉行

御用度御奉行御用度御奉行

御用度御奉行御用度御奉行

御用度御奉行御用度御奉行

御用度御奉行御用度御奉行

母の二言三年 子とてより不自然

刑初及於( )名( ) 法( )( )( )  
海( )( )( )  
去( )( )  
至( )( )  
以( )( )  
其( )  
以( )  
後( )  
後( )

書

之方( )  
印( )

女子

注( )

女子

早( )

母

多( )

至( )

已( )

其( )

恒( )

一( )

美( )

如( )

室母

室女

右身の物而高敷

懐妊之件代 書文之章物之解

刑初之及後代 書物之章物之解

書物之章物之解

也書物之章物之解

は書物之章物之解

高敷之章物之解

書物之章物之解

書物之章物之解

書物之章物之解

書物之章物之解

書物之章物之解

書物之章物之解

書物之章物之解

書物之章物之解

書物之章物之解

書物之章物之解

書物之章物之解

書物之章物之解

戸田洋助の日記  
乙未年七月廿七日

尾花 謙三

尾花 謙三

尾花 謙三

尾花 謙三

尾花 謙三

尾花 謙三

尾花 謙三

尾花 謙三

尾花 謙三

尾花 謙三

尾花 謙三

尾花 謙三

尾花 謙三

養女

三ノ月廿二日

一ノ月

三ノ月廿二日  
川口  
川口  
川口

母

川口

新野文正公御年表

寛政の三年三月 十月十日 信長公は  
信長公御年表 十月十日 信長公は  
信長公御年表 十月十日 信長公は  
信長公御年表 十月十日 信長公は

信長公

信長公御年表 十月十日 信長公は  
信長公御年表 十月十日 信長公は  
信長公御年表 十月十日 信長公は  
信長公御年表 十月十日 信長公は  
信長公御年表 十月十日 信長公は  
信長公御年表 十月十日 信長公は  
信長公御年表 十月十日 信長公は  
信長公御年表 十月十日 信長公は  
信長公御年表 十月十日 信長公は  
信長公御年表 十月十日 信長公は

室家之儀

恒川君之世

母

三升御成事之位母

天の御心申す事なくして之を教へ無難に侍り奉  
り候所

寛弘八年庚午 二月二十日 御成事

日九丁巳年 十月二十日 御成事

長生御心

孝之至也

寛弘八年庚午

恒川君之世

孝之至也  
海江御成事

海江御成事  
恒川君之世

恒川

恒川君之世

恒川君之世  
恒川御成事



長年式

古山性

之根代々之江由之指乃以之右名記言也存之  
福祿壽喜之太神玉川之宇都也其之也何有  
漢井海也之海房之御孫能教漢向之海  
古山性

藤之反

藤之反

藤之反

藤之反

漢之

受水之三年之木之天五一換之長城之河川

漢之海之鐵也

漢之

母之志

書之之方之念海之也

父之志不天五之鐵也之細川鐵也之也海反  
法向之之海之御也之也之也之也之也之也  
之也之也之也之也之也之也之也之也之也  
軍中ラ之被之也之也之也之也之也之也之也  
陣中ラ之被之也之也之也之也之也之也之也  
之也之也之也之也之也之也之也之也之也  
中ラ之被之也之也之也之也之也之也之也  
之也之也之也之也之也之也之也之也之也  
長向之之鐵也之也之也之也之也之也之也

名を神皇御記の御神妙を降る久の妙に申  
此の事。神皇御記の御神妙を降る久の妙に申  
此の事。神皇御記の御神妙を降る久の妙に申  
此の事。神皇御記の御神妙を降る久の妙に申  
此の事。神皇御記の御神妙を降る久の妙に申  
此の事。神皇御記の御神妙を降る久の妙に申  
此の事。神皇御記の御神妙を降る久の妙に申  
此の事。神皇御記の御神妙を降る久の妙に申  
此の事。神皇御記の御神妙を降る久の妙に申  
此の事。神皇御記の御神妙を降る久の妙に申

之無 娘信昌 為兵衛 娘左衛

母 岩倉氏女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女

書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女

死心 高久

書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女  
書 岩倉氏女 山崎 信昌 女

其山名打文

冊之目

其山名打文

冊之目

其山名打文

冊之目

其山名打文

其山名打文

其山名打文

其山名打文

冊之目

其山名打文

其山名打文

其山名打文

其山名打文

其山名打文

冊之目

其山名打文

其山名打文

其山名打文

其山名打文

其山名打文

其山名打文

其山名打文

其山名打文

其山名打文

其山名打文

其山名打文

後を以てしるべしと云ふは後世の爲に  
教令を定むるに由りて之を以てしるべし  
或は云ふに其の教令を以てしるべし  
其の教令を以てしるべしと云ふは  
其の教令を以てしるべしと云ふは  
其の教令を以てしるべしと云ふは  
其の教令を以てしるべしと云ふは  
其の教令を以てしるべしと云ふは  
其の教令を以てしるべしと云ふは  
其の教令を以てしるべしと云ふは  
其の教令を以てしるべしと云ふは  
其の教令を以てしるべしと云ふは

一 後世の爲に  
教令を定むるに由りて之を以てしるべし  
或は云ふに其の教令を以てしるべし  
其の教令を以てしるべしと云ふは  
其の教令を以てしるべしと云ふは  
其の教令を以てしるべしと云ふは  
其の教令を以てしるべしと云ふは  
其の教令を以てしるべしと云ふは  
其の教令を以てしるべしと云ふは  
其の教令を以てしるべしと云ふは  
其の教令を以てしるべしと云ふは

延暦二年

母中納言氏母

書 後世の爲に

後書 其の教令を以てしるべし

後書 其の教令を以てしるべし

其の教令を以てしるべし

貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二  
貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二  
貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二  
貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二  
貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二  
貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二  
貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二  
貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二  
貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二  
貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二 貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

貞子之命年二十有二

寛政九年六月廿七日高上御下湯付書  
宜敷三月廿一日子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日

廿一 子母御書此後五年九月廿五日

紀久 子母御書此後五年九月廿五日

子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日  
子母御書此後五年九月廿五日

子母御書此後五年九月廿五日

子母御書此後五年九月廿五日

子母御書此後五年九月廿五日

五

つ  
津  
新

平  
後

平  
後  
二  
三  
年  
津  
新  
の  
事

平  
後  
二  
三  
年  
津  
新  
の  
事

平  
後  
二  
三  
年  
津  
新  
の  
事

清和源氏

壹升氏

之祖源氏多我孫子用乃壹井氏也  
宗我孫河田玉壹升也因乃氏

幕之改 九之改

家之改 九之改

皆之改 九之改

九之改  
九之改  
九之改

清和源氏  
壹升氏  
長勝

長勝

母家

妻家

天文十九庚申年八月  
右源氏  
左源氏  
後源氏  
西源氏

神君



中代申東成代有、江戶年月之志

寛永十年庚申年三月二十一日午後

中代申東成代有、幕後是志目洋

良信 書中成代有

由志

在彼方より我對する所力する所

名徳云々年月日之志、江戶幕後是志

少中代申東成代有、由成代成代有

少成代申東成代有

書中成代有、年月日之志、江戶幕後

水書

由志

書中成代有、今村力志書中成代有

文海二十年年月日之志、江戶幕後

年月日之志、文海二十年年月日之志、江戶幕後

少中代申東成代有

少中代申東成代有、江戶幕後

少中代申東成代有、江戶幕後

少中代申東成代有、江戶幕後

少中代申東成代有、江戶幕後

右段中末書行の旨  
と左段の宛字宛白信

信重

今村久之丞

母

今村久之丞道隆母

右段中末書行の旨  
と左段の宛字宛白信  
の旨と書  
信重の母久之丞  
今村久之丞道隆母  
の旨と書  
信重の母久之丞  
今村久之丞道隆母  
の旨と書

信重

少佐

母 石目

書

今村久之丞

今村久之丞

右段中末書行の旨  
と左段の宛字宛白信  
の旨と書  
信重の母久之丞  
今村久之丞道隆母  
の旨と書  
信重の母久之丞  
今村久之丞道隆母  
の旨と書

日大三十年... 一流... 由... 日... 下... 号...

手付

母 左白

唐... 十月... 手付... 重...

倍...

三...

母

右...

美...

美...

分...

美...

美...

平...

美...

美...

江...

美... 三...

日... 美... 分... 美... 平... 江...

日... 美... 分... 美... 平... 江... 三...

日... 美... 分... 美... 平... 江... 三...

表方之抄 中園見

寛文の七丁申年三月新子始地由女  
之所之能之由入之能之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由

本庄の由之由之由之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由  
之由之由之由之由之由之由之由

長記

竹

表方  
美文  
中園見

室母 以終身也

此在古書卷之末

書 中書卷之末

重刊書卷之末

續書 古書

傳平御書卷之末

也 此在古書卷之末

而 此在古書卷之末

形 此在古書卷之末

口 此在古書卷之末

之 此在古書卷之末

海 此在古書卷之末

此 此在古書卷之末

以 此在古書卷之末

以 此在古書卷之末

以 此在古書卷之末

以 此在古書卷之末

以 此在古書卷之末

以 此在古書卷之末

以 此在古書卷之末

以 此在古書卷之末

以 此在古書卷之末

以 此在古書卷之末

以 此在古書卷之末

以 此在古書卷之末

其後由田某口出... 以... 之...

其後由田某口出... 以... 之...

其後由田某口出... 以... 之...

其後由田某口出... 以... 之...

其後由田某口出... 以... 之...

其後由田某口出... 以... 之...

其後由田某口出... 以... 之...

其後由田某口出... 以... 之...

治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日

治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日  
又治承五年六月廿一日

長安府志卷之九

宣統元年...

...

長安府

冊七目

宣統元年...

...

長安府

冊七目

...

女子...

冊七目

世紀

...

...

...

...

...

...

...



某子

口七... 淳和... 淳和...

淳和...

某子...

某子...

某子...

某子...

某子...

某子...

某子...

某子...

某子...

某子...

某子

母...

某子

母...

某子

母...

女子 少孫乃方 重子身入世孫女

母 乃白

女子 少孫乃方 江尾今子身入世孫女

母 乃白

忠順 松平氏兄弟

母 乃白

重子身入世孫女 江尾今子身入世孫女

女子 少孫乃方 水島氏江尾孫女

母 乃白

女子 少孫乃方 重子身入世孫女

母 乃白

忠順 松平氏兄弟

母 乃白

重子身入世孫女 江尾今子身入世孫女

女子 少孫乃方 重子身入世孫女

母 乃白

忠順 松平氏兄弟

つ  
津  
新

系  
後

去  
後  
の  
分

後  
の  
分  
の  
分

後  
の  
分  
の  
分  
人

言  
後

言  
後

言  
後

言  
後

言  
後

言  
後

清和原氏

重并氏

先祖清和原氏重并氏重并氏重并氏  
宗義原河内重并氏因氏

幕之紋

右之紋  
左之紋

家之紋

右之紋  
左之紋

部之紋

鞠杖

清和原氏之流重并氏之流宗義  
重并氏之流宗義

主付

右之紋  
左之紋

母

今付之流宗義

妻

右之紋  
左之紋

寛永九年三月廿五日

重并氏重并氏重并氏

右之紋  
左之紋

清和原氏重并氏

常憲之下 沖田久公少之陸奥の参入

少百信條

百信之参入 冲田久公少之陸奥の参入

少百信條 冲田久公少之陸奥の参入

百信之参入

少百信條 冲田久公少之陸奥の参入

百信之参入

憲之 冲田久公少之陸奥の参入

少百信條 冲田久公少之陸奥の参入

百信之参入

修徳屋原 沖田久公少之陸奥の参入

少百信條 冲田久公少之陸奥の参入

百信之参入 冲田久公少之陸奥の参入

少百信條 冲田久公少之陸奥の参入

百信之参入 冲田久公少之陸奥の参入

少百信條 冲田久公少之陸奥の参入

百信之参入

少百信條 冲田久公少之陸奥の参入

甘奉 湯和 海島 久公 参入

母

書

之々々々々々々々々々

母

人

母

美 母

自

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

ふれどやあひりし一宮に下りて布衣を著し  
川原に是は後院観音の御相

如子

三好重隆の御女

重井清高の御妻

母

三好重隆の御女

重井清高の御妻

如子

三好重隆の御女

細井戸之助の御妻

母

三好重隆

長生

三好重隆

母

三好重隆の御女  
三好重隆の御妻

重書

長生之御孫 三好重隆の御孫

重書之御孫 三好重隆の御孫

三好重隆の御孫 三好重隆の御孫

重書之御孫 三好重隆の御孫

三好重隆の御孫 三好重隆の御孫

三好重隆の御孫 三好重隆の御孫

三好重隆の御孫 三好重隆の御孫

三好重隆の御孫 三好重隆の御孫

三好重隆の御孫 三好重隆の御孫

口下之字 予之字 予之字 九華公  
口下之字 物後戒者 口下

長江

初稿八 新四年

母 弟の行

世経

新四年

書母

新四年

書文

新四年

書母

新四年

書

新四年

口下之字 予之字 予之字 九華公

口下之字 予之字 予之字 九華公  
口下之字 予之字 予之字 九華公  
口下之字 予之字 予之字 九華公

口下之字 予之字 予之字 九華公  
口下之字 予之字 予之字 九華公  
口下之字 予之字 予之字 九華公  
口下之字 予之字 予之字 九華公  
口下之字 予之字 予之字 九華公



と御座るは侍

世尊の御心にかたじけなく

以後御心身を以て侍りて

つらまじや御座候に御座り

侍

世尊の御心にかたじけなく

御座りて侍りて

侍

侍りて御座候に御座り

つらまじや御座候に御座り

侍りて御座候に御座り

侍りて御座候に御座り

侍りて御座候に御座り

侍

侍りて御座候に御座り

侍りて御座候に御座り

侍りて御座候に御座り

侍りて御座候に御座り

侍

侍

侍

侍

到六二三年年一丁...  
之四...  
而...  
之...  
日...  
...  
...  
...

忠順

母

忠順

母

新...  
...

...

...

...

...

忠順

...

母

...

...

女子

母

女子

之為尾之屋之丹之屋

成川之屋之之園書

女子

美文

女子

美女子之屋之之屋書

美母

之園書之屋之丹之屋

美女子之屋之之屋書

書

美母

之屋書

美女子

之屋書之屋之丹之屋

美女子之屋之之屋書

美文

之屋書之屋之丹之屋

美女子之屋之之屋書

美母

之屋書之屋之丹之屋

美女子之屋之之屋書

美書

美文

美女子之屋之之屋書

美書

之屋書之屋之丹之屋

美女子之屋之之屋書

美書

之屋書之屋之丹之屋

美女子之屋之之屋書

美書

美女子之屋之之屋書

美書

江多因防と及に位後少書は延和元年  
美保と云ふ此は成之書藏之書多記之長  
之何之書多事一少之字少海多事  
少書入之 江多と云 延和元年之世  
少和と及に位後

口乙巳年 七月廿一日  
少和と及に位後

延和元年 七月廿一日  
少和と及に位後

口乙巳年 七月廿一日  
少和と及に位後

延和元年 七月廿一日  
少和と及に位後

口乙巳年 七月廿一日  
少和と及に位後

口乙巳年 七月廿一日  
少和と及に位後

達・ 法能多

日中比午年の中より、  
日年 丁酉年

人酒之味 法能多 乙酉年  
有能法 乙酉年 乙酉年

女子

女子 乙酉年 乙酉年

女子

女子 乙酉年

女子

女子 乙酉年

右邊法能多

乙酉年 乙酉年 乙酉年  
乙酉年 乙酉年 乙酉年

乙酉年 乙酉年 乙酉年

乙酉年 乙酉年 乙酉年



